

令和7年度 新県民教授に聞く！

講座を担当してみてどうでしたか？

市販薬について学び、健康を維持しよう！

県民教授 吉田 裕一

初回の講義では要領が分からず、会場設営などの準備に汗だくになりましたが、回を重ねる毎に漸く慣れてきました。15名の塾生さんは健康や薬に強い関心があり、熱心に聴講されています。

毎回多くの質問を頂き、こちらも大変勉強になっています。薬は使い方を誤ると体に害を及ぼすことがありますので、薬を正しく使うことが大切です。本講座を受講することで市販薬について知識が増え、健康維持に役立ったと思って頂けるような内容にしていきたいと考えています。



洛中洛外図屏風・勝興寺本を読む

県民教授 針山 康雄

屏風絵映写の大画面をみながら、絵画鑑賞を塾生と双方向で学ぶ心算（心づもり）でいたが、一方的に流れたのが反省である。

議題が京都なので、京を熟知している人が多いと思っていたが、地理などの方向性、距離感までは理解されていなかった。2回目からは、現地図と江戸初期の地図を講義の始まる前に並べて説明をした。

また、身近な地区の祭礼の画像を入れ込み、昭和20年代まで我々が体験した風習・風俗を比較対象にして話をすることができた。

その後の出前講座では、地区の似た風習と比較しながら話をしてきた。来期も、勝興寺宝物シリーズ第二弾として、勝興寺宝物を材料にして関連する文化、風俗を紹介したい。

目からうろこの心理学

県民教授 小坂井 邦雄

塾生の方から「目からうろこの・・・」というタイトルに惹かれて受講したと言われました。

最近では10名程度で、和気あいあいと、心理学の勉強を楽しんでいます。簡単な心理検査をはじめ、社会心理学の実験や、グループワーク、アイスブレイクなどを取り入れて、盛りだくさんの工夫をしています。つい情報量が多くなり、早口の説明にならないようにと思っていますが。反省もたびたび。塾生の方々から「本当に目からうろこだった」と言ってもらえるように、頑張りたいと思っています。



ハワイ文化に触れる 癒しのフラ

県民教授 岡本 裕美

今年度、講座を初めて開講し、5名の塾生さんと出会いました。みなさん明るく朗らかで、とても熱心に学ばれる姿に私も励まされています。年配の方に教えるのは気を遣う面もありますが、自分らしく得意分野でお役に立てていると感じています。学遊祭のステージでは、塾生さんが、「緊張したけれど、挑戦してみて楽しかった。」と一言いただきました。毎回、資料作りでは、さらに深くお伝えできるようにと楽しみながら準備しています。講座の終わりにはみなさん笑顔で帰られるので、大変嬉しく思います。



イタイタイ病から学ぶべきこと

県民教授 鈴木 良平

この講座は、イタイタイ病というテーマに対し様々なアプローチを試みることににより、当たり前と思っているものを揺さぶり、考える機会をつくることを目的としていました。

堅苦しいタイトルの上、考えることを強いる講座だったので、塾生の皆さんはよく最後まで私に付き合ってくれたと、感謝の気持ちでいっぱいです。講座は講義とワークの二本立てで行いましたが、ワークに十分な時間をとれなかったことなど、自分の至らなさを突きつけられたことが一番の成果だと思っています。

「立山から岩瀬まで」季節を感じながら「驚き」を発見しましょう

県民教授 坂林 樹

定員を超える多くの方々に受講していただき感謝しています。自分が感動したことを皆さんと分かちあうこと、座学ではなく現地まで行って、タイムスリップ的経験をする、この2つの実現が講座開設の目標でした。毎回違う場所を訪ね、屋外で資料を見ながら説明して歩くという点では、大変なことは多数ありましたが、塾生の皆さんの熱心な視線と笑顔が支えとなりました。

篠笛から学ぶ日本音楽

県民教授 恒田 則子

10年前から羽岡先生に篠笛を習っており、今回、先生に自遊塾のお手伝いを頼まれ、図らずも県民教授となりました。受付事務や笛を吹くお手伝いをしたり、学遊祭では、塾生と一緒に演奏したり、楽しくも緊張した時を過ごしました。

塾生の方は、笛の音もよく出て簡単な童謡も吹くことができるようになりました。先日、6回の講座を終え安堵しています。

そして、3名の塾生が先生の下でお稽古を続けてくださることになり、嬉しく思っています。

